

令和元年 11月 21日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 阿部 治正 様

議会報告会 1班（北部地区）
班長 阿部 治正
戸辺 滋
西尾 段
坂巻 儀一
植田 和子
森 亮二
海老原功一

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 1 日時 令和元年 11月 10日（日）
午後 2時～午後 4時
- 2 場所 北部公民館 第2会議室
- 3 欠席議員 なし
- 4 来場者数 市民来場者 25人
議員・職員 3人
- 5 報告内容
総合計画って何？（次期総合計画と北部地域のまちづくり）

6 意見交換内容

○市民 A

流山街道の渋滞について、東深井交差点の改良も必要と考える。しかし、一の台幼稚園から運河の交番までの道路へ向けては、細い路地はあるが、幅の広い道がないため車があまり通らない。運河の交番の通りへと抜ける幅の広い道を作っても良いと考えるが、そのような計画はあるのか。

また、朝6時頃、物流センターでの仕事を終え、いろいろな国の方が大勢歩いて帰ってくる。人が多いわりに薄暗く、防犯対策が必要と考える。物流センターが増えれば、警察の巡回や交番の設置も必要ではないか。

●議員

TBS 団地内の都市軸道路の計画や、コープとベルクの先も高架線になる等の話もあったが、このあたりから抜ける道の計画は聞いていない。

●議員

物流センターの工事中の段階から、いろいろな国の方がいるというのは、自分の会派でもわかっていたので、治安という問題から気を付けなければいけないのではないかと、との提起はしてきた。警察の巡回や交番の設置など、良いご意見に感謝する。今後も執行部に訴えていきたい。

○市民 B

コープ前の通りは片側しか歩道がないため、歩道をきちんと作ってほしい。また、江戸川台東2丁目と4丁目の間も車が多いが、歩道と車道の間にある縁石で、自転車がひっかかって転んだりする。縁石をなくしてポールを立ててほしい。

また、利根運河周辺にはトイレが1か所しかない。以前、何名かの議員がトイレを増やすよう質問していたが、なぜ作れないのか。

以前は、駅のトイレに行きなさいと言われたが、子どもは無理だ。なぜ作れないのか、理由がわかれば答えてほしい。

● 議員

歩道と車道の間にある縁石に自転車や車が乗りあげてしまい、危ないというのはわかる。ポールに変えるというのも1つの方法だが、市内で数としては相当多い。比較的簡単にできるのは、オレンジのポールを目立つように交差点の角に立てたり、夜は見えづらいので反射鏡を付けて目立つようにする対応なら、予算も少なく早くできると思う。地域の課題として、お知り合いの議員や自治会経由でご相談いただければ、対応できると思う。

● 議員

滋賀県大津市でも園児の列に車が突っ込むという大変痛ましい事故があった。ポールだと車が突っ込んだ時、そのまま歩行者が犠牲になることがあり、場所によって取り組んでいく必要があると考える。縁石をしっかりと残すべきところは残して、ポールで対応可能なところはポールで対応して、工夫をして地域の声も聞いて取り組んでいきたい。市民から車いすやベビーカーが通りづらいなどの声も聞いている。1ヶ所1ヶ所取り組んでいきたい。

● 議員

トイレについては、何人もの議員が取り組んできた。予算的には県でも観光トイレとして設置するなら半額近くが助成される。予算的には問題ないが、トイレは便利施設である反面、そこに住んでいる方たちにとっては迷惑施設になる。賛同がなかなか得られないというのは伺っている。絶対できないのか、ということはないと思う。何よりも取り組み、やる気の問題だと思う。引き続き、我々も要望していく。

○ 市民 C

総合計画について、抽象的過ぎて何を言いたいのかわからない。持続可能とは何なのか。誰もが自分らしく暮らせるまち、という

のは最後まで暮らせるまち、ということか。現在、若者に対しては施策をいろいろ実施しているが、超高齢化社会に向けて在宅介護訪問診療は全くやられていない。一部の東葛病院の4, 5人の先生しか最後まで看取ってくれない。これをやる気があるのかどうか、市長に手紙を書いたが、「鋭意努力してまいります。」という何の意味もない回答だった。これを市議会では取り組んでいただけなのか。

また、流山市内に火葬場が必要だと思う。ウイングホールまで行かねばならず、1週間や10日待たされることが頻繁にある。流山市は火葬場を作る予定がないことについて、近隣住民が反対するから出来ないと云うが、そんなことを言っている段階ではない。また、市の英語のホームページは文章になっていない。まったく意味不明の英文になっている。あれでは外国人は理解できない。わからない部分は質問してほしいと松戸市や習志野市では書いてあるが、流山市は市長の文章でさえなっていない。改善していただきたい。

● 議員

総合計画について、行政運営とは、皆様の税金で物事やまちづくりを進めていくが、思いつきで1年毎にあれこれ進めていったら、まちの在り方がばらばらになってしまう。当面の3年、10年、中長期でのまちのビジョンを行政はきちんと持って計画的に物事を進めていかないとまちづくりがうまく運ばないことから、総合計画をつくりなさいと国の方針で決められた。私たち市議会は、議会基本条例という、議会の中でもしっかり審議できるように条例を作っている。国は、以前は基本構想だけを議会で審議すればよかったが、私たちは、基本計画も議会で審議して、良いか悪いか修正すべきか、議会が計画作りの決定に関わるような形も作っている。今まで右肩上がりの高度経済成長が日本のまちづくりの前提だったが、人口が減っていく、いろいろな政策を国が打ち出してもなかなか成長しない、そういった時に、全てが経済発展していく前提ではなく、今あるものを末永く、後世の人たちに受け継いでいく仕組みというものが持続可能性と言われている。

● 議員

在宅介護について、これからは在宅中心にやっていきたいというのが国の考え。施設介護は、建物を建設し、職員を多く雇わなければならない等、お金がかかるということで、在宅重視の傾向を強めている。高齢者介護は在宅も大事だし、施設介護も大事。重度の認知症の方や、四肢が動かなくなった人の在宅介護はいろいろ手を尽くしてもなかなか難しい。ご家族の様々な困難も大きくなっている。在宅だけでは解決できない。施設介護も大事である。流山市は、在宅が不十分と考える。24時間365日の定期巡回随時対応の訪問介護・看護のサービスもあるが、民間事業者の経済的負担が大きく、撤退してしまうなどがあつた。今は、2つの事業者に取り組んでもらっているが、行政としてサポートし、支えていくことが大事だと考えている。

● 議員

火葬場の件について、確かに市民の方から1週間、ひどい場合は10日待たされるという話を聞いている。待てずに県外に行くということも聞いている。現状を執行部に訴えてきたが、市内で火葬場を作れる場所というのが本当に難しい、という言葉ばかりが返ってきた。まずは、ウイングホールの炉を増やして、待つ日数を減らす取り組みを始めていることは聞いている。しかし、このままというわけにはいかない。流山市にも火葬場が必要だということを引き続き、執行部に訴えていく。

● 議員

火葬場の建築について、執行部には7年前から絶対に必要だと言ってきた。我孫子、柏、流山の3市で経営しているが、流山市は大変な状況になっていることもわかっている。7年前、市長、副市長の当時の話では20万都市を超えたら考えるという話だった。場所は、具体的には出てないが、20万人を超えたら必要だという認識は執行部も持っている。今後、20万人は超えてくるだろうと想像している。我々にとっても今後の課題である。

● 議員

補足として、北部地域は高齢化率が非常に高くなっている。体制整備として、市内4ブロックに分けて1ブロック1か所ずつ、高齢者何でも相談室が設置されているが、北部地域だけ2か所目の高齢者何でも相談室が、新川小のそばの特養ホームの中に設置された。少しでも、みなさんが安心して住み続けたい、年を重ねても安心と思っただけのように、まずは相談窓口という介護支援体制が整備された。ただ一方で、介護の体制を作るにも人材不足ということから、外国人労働者の受け入れをどうするなどの議論も出てくると思う。

ホームページについては、改善に向けて要求していく。

○ 市民D

北部地域は、中部、南部と比べて子どもは少ないが、地域の方が協力してくれる。子どものためにたくさん教えてくれる。午前中、中部の議会報告会に行ったが、子どもをどう育てていいかわからない、学童、保育園はあっても誰に言ってもいいのかわからない、地域の方に関わってもらえない、という話があった。北部地域で、私たちが育った頃は、地域全体で子どもをみてくれた。中部ではできない子育て環境をこの北部に持ってこられないだろうかと思った。江戸川台駅東口のジェトロの跡地を使って、駅前の場所を使った開発はほぼないが、いろいろな経験のある方たちがいて、子育てできる場所があれば素敵なことだと思った。ぜひ、北部地域で子育てにみなさんが関わってくれるような環境、場所を作ってほしいと、議会でも話をもってほしい。

● 議員

このたび、新川小と西深井小が小規模特認校に指定され、他の学区からも通学できるということになった。おおたかの森周辺に子どもが増えて学校が足りない状況だが、新川小と西深井小は学年によっては1クラスしかない。この点を活用できないのか、という取り組みだが、おおたかの森に越してきて、メリットがなけれ

ば、わざわざ遠い学校に行こうとは思わない。そこで、少ないから特認校ということだけでなく、みなさんのお知恵をお借りして、例えば、馬を飼っていて乗馬ができる等の特色をもたせて、そこに流れていくようなことはできないのかと、これは個人の意見である。学童の取り組みだけでなく学校のバランスを考えるとというのも1つの案かと思う。

● 議員

おっしゃる通り、地域で子育てすることはとても大事。いじめや不登校も増えて、そういうものを見ていくと核家族が増えたからなのかという思いがある。昔は二世代三世代で、子どもをみんなですべて育ててきた。近所でも叱ってくれたり、昭和の時代の頃の方が子どもは自由にのびのび育っていたと思う。小学生中学生が集まれる場所というものが、この北部地域にないのも事実。子どもは流山市の宝である。地域みんなで子どもを育てる思いは一緒である。

○ 市民 E

先月の風水害に関して、千葉県南部や東部で風水害の被害が遭った。それに対し、流山市はどのような対応をとってきたのか。また、流山市のハザードマップについて、ハザードマップは江戸川の河川の氾濫のためのものがある。それに対して、内水ハザードマップが非常に貧弱である。1時間あたり100ミリのもので、1000ミリ降ったら流山市はどうなるのか。それが作成されていないはずである。これでは内水ハザードマップが無いということになる。この充実はできないものか。

● 議員

内水ハザードマップについては、見直しが必要であると捉えているため、執行部にも伝えていきたい。また、風水害について、今回、流山市では大きな被害がなかったが、県全体を見ると大きな被害があり、こちらに給水車を派遣した。また、姉妹都市である相馬市が台風19号によって被害を受けた。現地の方に確認した

ところ、東日本大震災と同様の被害があったと聞いている。相馬市にも市として水を送り、市の職員を派遣したと聞いている。また、本市の台風対策として、これまでも台風が来るたびに職員が泊まり込みで対応し、市内の危険個所等を巡回するなどの対応を実施してきた。このような状況を見ると、市の職員は奮闘しているものと捉えている。

○市民 E

市の取り組みについては分かったが、広報ながれやまには千葉県の被害状況や、市の対応について一度も書かれていない。これは問題ではないか。

● 議員

確かに風水害に対する記載がなく、私もなぜ書かれていないのか疑問に思った。執行部に伝えていきたい。

● 議員

市役所の担当課からは市議会に対し、市の対応についての報告はあった。広報ながれやまへの掲載については、誌面割がタイトになっていることから、速報性に欠けるとして市のホームページに掲載されている。

○市民 F

今回の風水害対策について、流山市の対応は良かったと考えている。今回、安心メールにて警戒情報や解除に至るまでの状況、避難所の状況等が刻々と発信され、安心することができた。市の対応は完璧だったのではないか。

また、基本計画の中で、まちづくり基本計画がある。その中で、河川・排水・上下水道という欄があり、今回の水害を受けお願いしたいことがある。先ず、河川・排水について、今回の水害の特徴として内水氾濫が挙げられる。過去にもあったと思うが、今回のような被害は初めてだったのではないか。テレビ等でマンホールから水が溢れる映像を観て非常に驚いた。流山市でも同様の被

害がいつ起きてもおかしくないのではないか。江戸川台地域でも過去に内水氾濫により床下浸水等の被害があった。行政による下水管の拡張や集水枡を増加させる等の取り組みにより、実施した地域の内水氾濫は現時点で治まっている。しかし、かつてない豪雨に関しては、新たな災害が起こる可能性もあるため、更なる対応策をとって頂きたい。

また、河川の逆決壊について、整備されている堤防は問題がなかったが、整備されていない堤防が浸食された。流山市においても、「江戸川は大丈夫」と安心するのではなく、しっかりと点検して頂き、防災対策を万全にして頂きたい。

● 議員

内水ハザードマップについてお二人からご意見を頂いたが、その通りだと考える。ニュース等を見て、被災された自治体も話していたが、ハザードマップの見直し、また一級河川のみならず、小河川等へのハザードマップを構築し直さなければならない、多くの自治体でハザードマップを見直さなければならないとの声があった。これは、流山の多くの議員が考えている事でもある。ここにきては、時代に即したハザードマップの見直しをしなくてはならない時ではなかろうかと考えている。

それはエリアによっても必要であり、外国人に対する避難誘導、それも英語圏だけでいいのか等の議論も必要であると考え。要するに想定外の災害を想定して、災害対策を考えていく必要があるのではないかと考えている。

● 議員

私見であるが、流山市が大規模災害に見舞われてこなかったこともあり、防災危機管理課の職員数も多くはないように考えている。先程も被災地に向け市の職員を派遣したのかといったご意見があったが、水道局の職員は被災地に向かったが、防災危機管理課の職員は行けるかと言ったらそこまでの職員数ではないように感じている。ただ、近年の天候の状況を見ても、流山でいつ大規模災害が起こるかわからないと感じているし、これまで議会でも

会派を超えて様々な角度から防災対策について執行部に提案してきたが、今後も皆様のご意見を頂きながら、しっかり災害に強い流山をつくっていききたい。

○市民G

要望として、今回の風水害を機に流山市の防災対策を更に強化して欲しい。

2点目として議員さん達にお願いしたいのが、しっかりと執行部を監視してほしい。また、市民から選ばれた議員は、市民の意見をしっかりと聴いてほしい。次に、政策提言で議員立法を出して欲しい。調べた限りでは、この10数年間で3本しか出ていない。また、いじめ問題に関しても、かつて議会を傍聴した際、当時の部長は「いじめはない」と答弁していたが、今回の報道でいじめがあった事が明るみになった。このいじめ問題に関し、11月13日に教育福祉委員会の協議会があると聞き、傍聴を望んだが、個人情報等の関係で傍聴できないとのことであった。しかし、こういった問題は、市民にしっかり報告してほしい。

●議員

今流山市では総合計画を中心的にやっているが、政策についても進めて参りたい。また、いじめの件については、先日の会派代表者会議で説明があり、教育福祉委員会でも協議会を持つところである。市民の皆様に、報告できる状況となれば、直ちに皆様に報告して参りたい。

●議員

議員立法について、見かけのうえでは3つだが、これまでも議会及び常任委員会がイニシアティブをとって策定された条例もある。そのような形で取り組んだ経緯があった事をご理解頂きたい。

○市民H

総合計画について、総合計画の元に都市計画マスタープラン、コンパクトシティ構想、財政健全化等の骨組みのなかで審議されて

いると思うが、それらを進めるに際して、十年先、二十年先を睨んだ計画だと思うので、そこには働き方の問題、地域と人・モノ・情報、それから教育や高齢化社会への対応など様々な観点がある。また、基本計画の中に「産業の振興」という項目があるが、流山市でももう少し企業誘致を進めて頂き、固定資産税や法人税、所得税等が入ってくるような街づくりをして頂きたい。

ちなみに、10年後の一般会計の予算総額はどのように予測されているのか。また、税収予算の配分はどのようになると考えているのか。

● 議員

10年後の財政規模については、現時点ではなかなか想像が付きにくいですが、現在でも企業誘致はしっかり取り組んでいる。ただ、企業の本社を誘致できなければ、大きな税収は見込めず、この点に苦心しているものと捉えている。市長・副市長も企業誘致に奔走しており、そのことは報告を受けている。

● 議員

今年度の一般会計予算はおよそ600億円となっている。10年前に遡るとおよそ400億円だったので、この10年間で200億円財政規模が増加したことになる。そう考えると、つくばエクスプレス開業後は人口増加期となっており、令和8年から9年頃までは人口が増加する見通しとなっている。そのままの成長威力でいけば200億円ほど増える可能性があり、800億円規模の予算になると考えられる。ただ、今後の景気動向や、市の税収が増えれば国から貰える交付税は減額となるため、それらを十分に分析しながら対応していきたい。

○ 市民 I

旧松戸野田有料道路の周辺道路について、物流施設の開設により、交通渋滞が発生しているため、今後の計画の中でしっかりと対応して頂きたい。また、流山市においても外国人労働者が増えつつあるが、その方々の健康状態に留意して頂きたい。

また学校についても、外国人が増える可能性があるため、トラブルが発生しないよう、その対応策を検討して頂きたい。

● 議員

交通渋滞については、かつて愛宕山前の市道について、拡幅できないかといった声を頂いた。ただ、流山街道へと出る交差点の形状が複雑であり、信号機の設置も困難なため、この市道を拡幅する計画はないと聞いている。しかし、市道のカーブとなっている箇所を買い上げ、より直線的に改良する計画があると聞いている。また、外国人について、今年度から導入された特定技能生や技能実習生については、JITCO を通して必ず組合に来るときにも日本語検定や健康診断のようなものが実施されていると聞いている。ただ、今は難民ビザ等もあり、そのような形で入国した方については不明である。

7 参加者から議会への要望

6 意見交換の内容の通り

8 所感

(阿部 治正)

今回も含め最近の議会報告会は、議会側と市民の皆さんとの間の意見のやり取りがよく噛み合うようになってきたと感じます。報告しっぱなし、意見のぶつけっぱなしではなく、有意義な意見交換が成立するようになってきていると思います。議会の役割に対する市民の皆さんのご理解の深まり、議会側における自らが市民に対して負う責任についての自覚の高まり、こうしたことが議会報告会の効果としても生じてきているのではないかと思います。この流れを大切に、いっそう発展させていくことで、さらに実り多い報告会を目指していきたいと思います。

(戸辺 滋)

当日は多くの方が出席して下さり、意見交換においても様々なご意見が寄せられ、有意義な議会報告会であったと思います。ここ数年、常任委員会ごとに議会報告会が開催されていましたが、今回は地域別での開催とのことで、意見交換時においても地域の課題について取り上げられる方が多く、貴重なご意見をお聞きすることができました。ただ、常任委員会ごとの開催時と違い、事前の打ち合わせの日程調整が難しかったことや、地域ごとに議員数が異なる等、いくつか課題があったように思いますので、今後の実施体制については更なる議論が必要と思いました。

(西尾 段)

参加者も多く活発な議論があり、大変有意義だったと感じた。アンケートを見ると、以下の点が目立った。「印刷した資料が欲しい」、「総合計画の説明が分かりづらい」

1点目の資料配布をしなかったのはペーパーレスからの観点から印刷した資料の希望が出る可能性は想定していたが、必要であれば資料を送る旨の説明をしたが、希望は無かったため結果的には良かったと考える。2点目の総合計画についてはもともと大きな話の為、漠然とした内容になってしまう事は致し方ないと考えていた。アンケートで見ると結果的にこちらの予想が悪い方に当たってしまった。市政について詳しい方、詳しくない方、様々な方が居る中で皆さんに同様に理解してもらうことは難しいが、質疑応答などで解決できる様、今後活かしていきたい。

(坂巻 儀一)

今回は発表並びに原稿作成の責務を受け、短時間に総合計画とは何かから始まり次期総合計画の概要までの説明と更には地域課題を掲げる事は私的に困難を極め原稿作成の段階では原稿を打っている時間より悩んでいる時間の方が長かったように感じました。そもそもこの与えられた状況下において全ての参加された市民の皆様にご理解いただく事は不可能とは予想していましたがアンケートを拝読するに予想以上に好反応であった事に少し

救われた気が致しました。地域選出の議員構成での試みでありましたが、説明後の意見交換においても其々の議員が交互に参加者との議論を交わしチームワークの取れた有意義な時間を共有できたと思われまます。参加されました市民の皆様と今回共に取り組みました党派、会派、期数を越えた議員仲間に感謝致します。

（植田 和子）

改選後、初の議会報告会ということで、気持ち新たに、市民のみなさんの様々なご意見を伺うことができました。そして、18回目の議会報告会でしたが、こんなにたくさんの市民の方にご参加いただけた議会報告会というのは私の中では1期目の時の放射能問題の時と断水の時以来だったように思います。台風直撃は免れたものの自然災害に対する市民のみなさんの意識はより高くなったと思えますし、いじめ問題の報道もあり、子どもを取り巻く環境の問題、流山市も超高齢化社会に向かっている中での深刻な火葬場の問題など、流山市が抱える課題をあらためて共通認識として持つことができました。今後の議員活動、議会活動に活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。

（森 亮二）

総合計画という専門的かつ難しい議題に対して、短時間で説明し、議論を深めることの難しさも感じておりましたが、多くの参加者からは積極的に質問をいただき、また非常に有意義な議論を交わすことができました。参加者の皆さまに心からお礼を申し上げます。なお運営スタイルについて指摘や改善を求める声（参加者の質問整理のための時間確保・質問される方の姿勢など）を頂きました。18回を数え成熟期を迎えた議会報告会を、よりよい会にしていくためにも、それらの意見を反映させることで参加の促進やリピート率の向上に繋げていきたいと思えます。

（海老原 功一）

多くの方が参加され、活発な意見交換が行われました。皆さんからの貴重なご意見やご要望を真摯に受け止め、議会において充分

なる検証、検討、提案をしていきます。